平成二十七年度　富良野市立布部小学校
学芸会・演劇祭上演台本

作・今村先生＋富良野市立布部小学校の子どもたち

（　）ねん（　）

キャスト

用務員さん（はちやさん）…5年

事務員さん（すえながさん）…6年

アイドル（おばけ）・影絵の子ども①　…2年

ウルトラマンたろう（おばけ?）・影絵の子ども②　…2年

おじいさん（おばけ）・影絵の子ども③　…5年

落武者（おばけ）・影絵の子ども④　…5年

パックマン（おばけ?）・影絵の子ども⑤　…4年

黒ネコ・影絵の子ども⑥　…4年

花の妖精・影絵の子ども⑦　…2年

あずきあらい（ようかい）・影絵の子ども⑧　…5年

お岩さん（おばけ）・影絵の子ども⑨　…5年

校長先生　…1年

ラスカル（　先生）

ギネス認定員（　先生）

ぬのべ犬（　先生）

6の化身たち（先生）

プロローグ

水滴…ギシギシ…という音がひびく。まっくら。
懐中電灯をもった用務員さんと事務員さんが、おそるおそる幕前に登場。
客席から「ニャー」というネコのなきごえ。二人、懐中電灯を客席に向ける。

事務員 何!?
用務員 びっくりした―…(と、懐中電灯の明かりが消える)
事務員 どうしたんですか、用務員さん?
用務員 なんか、懐中電灯が付かなくなっちゃって…
事務員 (懐中電灯の明かりが消える)あれ?わたしもです。
用務員 事務員さんもですか?

こわい雰囲気の音楽(スリラー前奏)。幕が開く。
とつぜん、マイケルジャクソンの『スリラー』イン、と同時に
くらい舞台上で待機していたおばけたちが、懐中電灯を顔の下から当てる。(登場)

用&事 キャ――――――!

おばけたち、2人にせまる。(懐中電灯はキープ)
追いつめられて…

用&事 た―す―け―て――――!(にげだす)
みんな (前を向いてタイトルコール)「ろくはろくでもろくでなし!」

おばけたち、こわいわらい声をあげながら去る。
スリラーが残ったまま、アライグマが登場。
「数時間前」と書かれたプラカードをもって、なんか面白い感じで通りすぎて、さる。
巻き戻しの音。

シーン1 着任してきた用務員さん

スズメの鳴き声、と朝の子ども達の声。
スポットライトで、用務員さん登場。ペコリとおじぎをする。

用務員 みなさんおはようございます。本日布部小中学校に着任しました、用務員のはちやです。そうじと工作が得意です。用務員さんってよんでください。みなさんと、早くなかよくなりたいので、よろしくおねがいします。(はくしゅ・チャイムの音)よし!まずは学校のそうじ、と。(かげ絵裏に移動する)

用務員が、ホウキを持って（拾って）、かげ絵の裏に入る。
と、同時に暗くなり、かげ絵ライトがつく。奇妙な音楽・影絵の声、イン

《かげ絵》（録音）

用務員 お、教室では九九の勉強をしているな。
子ども① …5×4＝20　5×5＝25　5×7＝35　5×8＝40　5×9＝45
7×1＝7　7×2＝14　7×3＝21　7×4＝28　7×5＝35　7×7＝49…
用務員 おや？6の段が抜けてるぞ？ふふふ。がんばれよ。お、体育館では鬼ごっこか。
子ども② い―ち、に―い、さ―ん、し―い、ご―お、し―ち、は―ち…
用務員 なんてこった。数が数えられない子どもがいるのか。先生、ちゃんと教えてやれよ。
子ども③～⑧ 用務員さん！
子ども③ これ、こわれちゃったんです。なおしてくれますか？
用務員 まかせとけ！このポケットには何でも入ってるんだ。てってれ―ん♪しゅうりセット
――どうだ。ドラえもんの四次元ポケットみたいだろう。
子ども④ え？なにえもんですか？
用務員 ドラえもんだよ。
子ども⑤ なんですかそれ。変なの。
用務員さん おかしいなあ。このへんは6チャンネルがうつらないのか？ところで君たちは何年生だい？
子ども⑥ 5年生です。
用務員さん え？そんなに大きいのに？
子ども⑦ はい。もうずっと。
用務員さん え…？
子ども⑧ あ、もういかなきゃ、ありがとうございました――！
用務員 はいよ。お、もうこんな時間か。5時間目が終わってしまった。次は6時間目かな？
子ども達 用務員さん、さよ―なら―
用務員 さようなら！って、あれ？みんな、今日は5時間で終わりかい？
子ども⑨ 何言ってるんですか用務員さん。5時間目よりあとなんてないですよ。
用務員 え？
子ども達 じゃあ、さよ―なら―。
用務員 さようなら…
黒ネコ にゃ―。

用務員さん、影絵から出てくる。明るくなる。
影絵ライトを切り、影絵セットをはける。

用務員 変な学校だなあ。

事務員さんが、電卓を持って登場。

事務員　こんにちは。
用務員　あ、こんにちは。たしかあなたは事務の…
事務員　すえながです。用務員さん、ちょっとこの電卓調子悪くって。見てくれません？
用務員　わかりました。（電話機を見て）…あれ。これって…
事務員　そう。6のボタンが無いんです。もう、ふべんでふべんで…
用務員　あの…着任して早々こんなこと言うのなんですけど…この学校ちょっと変わってません？
事務員　そうなんです！実は私も先週この学校にふにんしてきたばっかりなんですけど、なんかおかしいことが多くって。
用務員　おかしいことって、もしかして…
事務員　はい。この学校には、奇妙なことに…
用＆事　6がない！
事務員　そうなんです！やっと話が通じる人に会えたわ。
用務員　事務員さん以外は誰も6の存在に気づいていないんですか？
事務員　はい。
用務員　これは…。（雰囲気のある音イン）用務員としては、ほうっておけないですね。
事務員　…私も、事務員としてなんとかしなきゃと思っていたところです。
用務員　やりますか？（ニヤリ）
事務員　ええ。（ニヤリ）
用＆事　この学校には何かある！（キラーン）
用務員　じゃあとりあえず。学校を調査しましょう。もちろん、真夜中に！
事務員　まあこわい！きっと身の毛のよだつホラーな探険になることうけあいね。
用務員　いったいどんな恐怖と絶望がまちうけているのか！
事務員　この続きは…
用＆事　ＣＭの後で！！

くらくなる。２人、はける。

《映像》布部小中学校ＣＭ映像（約２分）

シーン２『真夜中の学校探険』

巻き戻しの音から、スリラーの音の続き。アライグマも戻ってくる。
「そしてさいしょのばめんにもどる」と書かれたプレートを見せて、なんとなくさる。
用務員と事務員登場。

用＆事　た―す―け―て―！

間。

用務員　…いなくなったみたいですね。
事務員　そうみたいですね。さっきのあれ、やっぱおばけですよね。
用務員　きっとあのおばけの中に、数字の6にうらみのあるおばけがいて、学校中の6を消してしまっているんですね。
事務員　アライグマもいましたね。
用務員　夜行性だから、このへんをウロウロしているんですね。
事務員　意外ときょうぼうなんで気をつけましょう。
用務員　はい。とりあえず、学校中のあやしい場所をさがしてみましょうか。
事務員　そうしましょう。

一度はける。暗転→教室の明かり（暗め）。
♪「おばけなんてないさ」を口ずさみながら舞台奥に登場。
ドアの前で。

用務員　音楽室か。あやしいな。（ドアから入る。）
事務員　し――！何か聞こえる！

暗い中、女の子（アイドル）のあやしいはなうたがきこえる。（ろくでなし）

用務員　なんだこのぶきみな歌声…！
アイドル　（とつぜん出てきて）ロックのばか――――！！
用＆事　キャ――――！
アイドル　キャ――――！（さけびごえにおどろく）
事務員　で、出た――――！（明るくなる）
アイドル　なに！なんなの？あなたたち。ビックリさせないでよね。
事務員　ごめんなさい。私たちはこの学校の事務員と用務員です。あなたはおばけですか？
アイドル　そうよ。
用務員　で、君が数字の6にうらみがあって悪さをしていたのか。
アイドル　ちがうわ。あたしがうらんでいるのは、ろくはろくでも、歌のロックよ。
事＆用　ロック？
アイドル　そうよ。あ・た・しはアイドルだったの！でも、あたしロックがにがてで、ぜんぜん歌えなくて。けっきょく、そうせんきょでもいつのまにか、けんがいに…。
事務員　そうだったの。
アイドル　あのとき、ロックの心さえわかれば…。ああ！ロックがにくい！
用務員　ロックの心か…よし！わたしにまかせときなさい！
事＆ア　え？

用務員さん、一度はける（ドアの裏に）。トンカントンカン音がする。
ふたたびもどると、手にはホウキギター。

用務員　これ（ホウキギター）をひいてみろ！ロックのたましいと言えば、ギターだぜ！
アイドル　ギター…（ひくと、すごい音がする）
事務員　かっこいい！
アイドル　すごい、これがロックの心…なんかわかった気がする！ありがとう用務員さん！
用務員　なんのこれしき。
事務員　でもけっきょく、うらみがあるのは数字の6じゃなかったわね。
アイドル　♪ろっく～でな～し～　ろっく～でな～し～　なんて～ひど～い～　ア～ウィ！　いいか～た～
用務員　なんだい、その歌？
アイドル　ろくじゃなかったから「ろくでなし」。新曲よ。いい歌でしょ？
用＆事　うん！
事務員　じゃあ、次の場所を探しましょう。

ドアから出ていく。暗転→教室の明かり（暗め）。
♪「おばけなんてないさ」を口ずさみながら舞台奥に登場。
ドアの前で。

用務員　理科室か。ここもあやしいな。（ドアから入る。）
事務員　し――！何か聞こえる！

暗い中、男の子（ウルトラマンタロウ）のなきごえがかきこえる。（シクシク…）

用務員　なんだこのぶきみな泣き声…！
タロウ　（とつぜん出てきて）シュワッ―チ！
用＆事＆ア　キャ――――！
タロウ　ジュワ――――！（さけびごえにおどろく）
事務員　で、出た――！オニよ――！
タロウ　おれはオニじゃない！ウルトラマンタロウだ！ジュワッ。（明るくなる）
事務員　ごめんなさい。私たちはこの学校の事務員と用務員です。あなたはおばけですか？
タロウ　いや。わたしは今、みんながらわすれられたそんざいなんだ。なんせ6人目のウルトラマンだからね。
事務員　そうか！タロウは「♪ウルトラマン！ナンバーシックス！」のうたでおなじみ！
用務員　で、あなたが数字の6にうらみがあって悪さをしていたのか。
タロウ　ちがうぞ。わたしがうらんでいるのは、ろくはろくでも、「きろく」なのだ。
事＆用　きろく？
タロウ　そう。テレビに出られなくてひまだから、ギネス記録をねらっていたのだ。「このトランプを、世界一　おそくくばる」というね。だがなかなかうまくいかないのだ。
事務員　そうだったの。
タロウ　わたしもにいさんたちみたいにめだちたい…ああ！きろくがにくい！
用務員　ドンマイ。
事務員　でもけっきょく、うらみがあるのは数字の6じゃなかったわね。

アイドル　♪ろっく～でな～し～　ろっく～でな～し～　なんて～ひど～い～
ア＆用＆事　ア～ウィ！（振りをつけて）
アイドル　♪いいか～た～
タロウ　なんか元気が出る歌だな。
事務員　じゃあ、次の場所を探しましょう。

ドアから出ていく。暗転→教室の明かり（暗め）。
♪「おばけなんてないさ」を口ずさみながら舞台奥に登場。
ドアの前で。

用務員　図書室か。ここもあやしいな。（ドアから入る。）
事務員　し――！何か聞こえる！

暗い中、しょうぎをさす音がきこえる。（パチ…パチ…）

用務員　なんだこのぶきみなラップ音…！
おじいさん　（とつぜん出てきて）おうて――――！！
用＆事＆ア＆タロ　キャ――――！（ジュワ――！）
落武者　（ぎゃくのほうから出てきて）むねん――――！！
用＆事＆ア＆タロ　キャ――――！（ジュワ――！）
事務員　で、出た――！おじいさんと、落武者――！（明るくなる）
おじい　おお、すまんすまん。こやつとしょうぎをうってたら、としがいもなくイライラしてしまって。まさかだれかがいたとは思わなんだ。
事務員　ごめんなさい。私たちは事務員と用務員です。あなた方はおばけですか？
落武者　いかにも。
用務員　で、あなたたちが数字の6にうらみがあって悪さをしていたのか。
おじい　ちがうわい。わしがうらんでいるのは、ろくはろくでも、緑茶じゃ。
事＆用　緑茶？
おじい　さよう。ほら、緑茶には、カフェインがいっぱいじゃろう。わしはむかしから濃い緑茶がだ―い好きでのう。そのせいで、夜ねむれなくなってしまったのじゃ。
事務員　そうだったの。じゃあ落武者さんは？
落武者　せっしゃがうらんでいるのは、ろくはろくでも、十六茶でござる。
事＆用　十六茶？
落武者　いかにも。十六のうちのひとつ、みかんの皮茶がせっしゃのアレルギ―だったなり。
アイドル　みかんの皮…そんなものがふくまれていたの！
おじ＆武者　ああ！緑茶（十六茶）がにくい！
事務員　お茶か…わかったわ！わたしにまかせといて！
みんな　え？

事務員さん、一度はける（ドアの裏）。ジョボジョボジョボと音がする。

ふたたびもどると、手にはむぎ茶。

事務員 これをのんでみて！職員室で入れてきたの。カフェインフリーでお子さまだけじゃなく、なんとにんぷさんも平気！さらにミネラル豊富で健康増進！もちろん、みかんの皮なんてわけわかんないものも入っていない！その名も…むぎ茶よ！

おじ&落 むぎ茶…（おじいさんと落武者、飲む）うまい！（みんなではくしゅ）

おじい よかったのう。

落武者 おのれもな。

事務員 でもけっきょく、うらみがあるのは、数字の6じゃなかったわね。

アイドル ♪ろっく～でな～し～ろっく～でな～し～なんて～ひど～い～

ア&用&事&タロ ア～ウィ！（振りをつけて）

アイドル ♪いいか～た～

おじい なんとなく青春を思い出す歌じゃ。（なみだをふく）

落武者 このご恩、けっしてわすれぬ。

事務員 じゃあ、次の場所を探しましょう。

ドアから出ていく。暗転→教室の明かり（暗め）。
♪「おばけなんてないさ」を口ずさみながら舞台奥に登場。
ドアの前で。

用務員 パソコン室か。ここもあやしいな。（ドアから入る）

事務員 し――！何か聞こえる！

暗い中、パクパクパク…と不気味な音がきこえる。（パックマンの音）

用務員 なんの音だ…？（だんだん音が大きくなる）

とつぜんパックマンがあらわれ、おじいちゃんをパクッと食べる。

おじいさん ぎゃ――――！！

みんな キャ――――！（ぎゃ――！）（ジュワ――！）

事務員 で、出た――！パックマン――！（明るくなる）

落武者 ごろうじん！今たすけるでござる！えいや！

落武者、体にささっている矢をぬいて、パックマンをサクッととさす。

パック いて！（おじいさんをはなす）

おじい たすかったわい。ありがとう落武者どの。えい。（矢をもとの場所に刺しもどす）

落武者 （さされて）ぐはっ。うむ。れいにはおよばぬ。

おじい おぬしはパックマンじゃな。わしもむかし、ゲームで遊んだわい。

パック うん。さっきはごめんよ。ついついおどろいてしまって。

事務員　こちらこそおどろかしてごめんなさい。私たちは事務員と用務員です。あなたはお
　　ばけですか？
パック　まあにたようなもんかな。
用務員　で、数字の6にうらみがあって悪さをしていたのか。
パック　ちがうよ。ぼくがうらんでいるのは、ろくはろくでも、ロックマンさ！
事＆用　ロックマン？
パック　そう、ぼくはあのアクションゲームのロックマンに、人気をうばわれたんだ！ぼくのほ
　　うが先に生まれたのに！ああ、ロックマンがにくい！
アイドル　じゃあ、あなたは、ロックマンにうらみのあるパックマンなのね。
事務員　じゃあこうしたらどうかしら…パソコンでちょっとプログラムを変更して…
パック　え？

　　事務員さんがパソコンでカタカタ打ち込む。
　　すると、パックマンに変化が！（アライグマが一生懸命きがえさせてあげる）

全員　おお～！
おじい　パックマンが変身しおった！
落武者　かっこいいぞ！
パック　ぼくはもうパックマンじゃない…きょうからぼくは…ポックマンだぜ！
みんな　おお～（はくしゅ）
おじい　がんばれ、ペックマン。
パック　ポックマンだ。ありがとう。
落武者　おぬしならもう一度ゲーム業界をリードできるさ。ビックマン。
ポック　ポックマンだ。うん。ありがとう。
事務員　でもけっきょく、うらみがあるのは、数字の6じゃなかったわね。
アイドル　♪ろっく～でな～し～ろっく～でな～し～なんて～ひど～い～
ア＆用＆事＆タロ＆おじい＆落武者　ア～ウィ！（振りをつけて）
アイドル　♪いいか～た～
ポック　よ―し、ぼくもやるぞ――！
事務員　じゃあ、次の場所を探しましょう。

　　ドアから出ていこうとすると
　　とつぜん黒ネコがドアからピョンとあらわれる。

黒ネコ　にゃ――！
みんな　キャ――――！（ぎゃ――！）（ジュワ――！）
事務員　で、出た――――！定番の黒ネコね！
用務員　で、数字の6にうらみが…。
黒ネコ　ちがうにゃ。わがはいがうらんでいるのは、ろくはろくでも、ロシアンブルーにゃ！
事＆用　ロシアンブルー？
ポック　あの毛なみのよい高級なネコだね。

おじい　ろく…とロシアン…か。
黒ネコ　わがはいは、かわいがってくれてたかいぬしさんに、ある日とつぜん捨てられたんだにゃ。…かいぬしさんは、けっとうしょつきのロシアンブルーの方の方がいいって…ぼくがただの黒ネコだったばっかりに！
落武者　なんてひどいんだ！ゆるせぬ！
黒ネコ　せめてわがはいの目が青ければ…ああ、ロシアンブルーがにくいにゃ！
用務員さん　じゃあ、サングラスをつけてあげよう。（青いサングラスをつけてあげる）
黒ネコ　わーい！やったにゃーっ！（ガッツポーズ）
ポック　うん！君もぼくと同じく、今日から生まれ変わったんだ！…黒ネコブルーとして！
おじい　なんだか黒だか青だかわかんない名前だのう。
事務員　でもけっきょく、うらみがあるのは、数字の6じゃなかったわね。
アイドル　♪ろっく～でな～し～ろっく～でな～し～なんて～ひど～い～
ア＆用＆事＆夕＆じ＆落＆ポック　ア～ウィ！（振りをつけて）
アイドル　♪いいか～た～
黒ネコ　にゃー。
事務員　じゃあ、次の場所を探しましょう。

ドアから出ていこうとすると、すぐに、曲「花の子ルンルン」が聞こえてくる。

全員　ん？

うふふ、うふふ…といいながら、花のようせい登場。

妖精　こんにちは！わたしは花のようせい。
おじい　ようせいか。だんだんおばけからはなれていくのう。
用務員　一応きいてみるけど、数字の6に…。
妖精　いいえ。わたしがうらんでいるのは、ろくはろくでも、クロッカスよ。
事＆用　クロッカス？
妖精　むかし、クロッカスのまわりにとんでたハチにさされたの。いたかったわ。
ポック　花のようせいなのに。
用務員　じゃあこの虫よけスプレーを。（シューッとかける。）
妖精　ありがとう。これで安心してクロッカスの周りにいれるわ！
黒ネコ　おお！はやい！
事務員　でもけっきょく、うらみがあるのは…
アイドル　♪ろっく～でな～し～ろっく～でな～し～なんて～ひど～い～
ア＆用＆事＆夕＆じ＆落＆ポ＆黒　ア～ウィ！（振りをつけて）
アイドル　♪いいか～た～
妖精　なんかあつかい、ざつじゃな～い？
事務員　じゃあ、次の場所を探しましょう。

ドアから出ていく。暗転→教室の明かり（暗め）。

♪「おばけなんてないさ」を口ずさみながら舞台奥に登場。
ドアの前にくると、「ザザー、ザザー…」と波の音がきこえる。

ポック　海？
黒ネコ　そんなはずはないにゃ！
おじい　ここちいい波の音じゃのう。
落武者　この家庭科室から聞こえるでござる。

ドアから入ると、妖怪あずきあらい登場。（明るくなる）
例の「あずきで波の音を出す道具」を持って、波の音を出している。

あずき　おいらは妖怪あずきあらいでげす。
用務員　おお。ついに妖怪か。
あずき　おいらがうらんでいるのは、ろくはろくでも、六骨亭でげす！
事務員　まあ、まだなんにも聞いてないのに。
あずき　かつて、あの有名おかしメーカー「六骨亭」は、おいらのおいしいあずきを求めて、おいらと専属契約を結んでいたんでげす。でもあのめっちゃおいしい「♪ヌノキャラ」が発売されてからは、そっちばっかり。おいらは時代の波に取り残されたんでげす。
ポック　おいしいもんね、ヌノキャラ。
あずき　もうあんこの時代じゃねえんでげす！あんこなんてだれも求めてねえんでげす！
おじい　そんなことないぞ！わしはあんこがだいすきじゃ！
みんな　わたしも。（口々に）
あずき　みんな…。
黒ネコ　そうだ、今ここであずきを使った新商品を開発したらいいんだにゃ！
あずき　えっ？
事務員　ようし！今日は予定を変更して、あずき商品開発会議よ！
みんな　おおー！
用務員　あんこと言えば…やっぱりおまんじゅうかな。
あずき　えーふつうだな。
妖精　じゃあわたしのクロッカスつかっていいわよ。
みんな　おお～。
アイドル　いいね。
タロウ　名前なににする
おじい　クロッカスまんじゅうでいいんじゃないかの。
あずき　えーじじくさい。
落武者　じゃあお花まんじゅうというのは？
あずき　うわーまずそう。
ポック　じゃあスーパーきらきらスペシャルまんじゅうデラックスというのはどうかな。
あずき　おめえはあほか。
ポック　きみ、さっきから口わるいなあ。
黒ネコ　だれのために話し合ってると思っているんだにゃ。

あずき　ごめんでげす。
妖精　じゃあ普通に「クロッカスまんじゅう」ということで。
みんな　いいでーす。
あずき　みんな…ありがとよ。おいらなんかのために。じゃあ、ちょっと作ってくるでげす！

と言って、舞台袖へはける。グツグツ音がした後、すぐに戻ってくる。

あずき　できた！新商品「クロッカスまんじゅう」でげす！
みんな　おお～。
用務員　おいしそうじゃないか。
あずき　げすげすげす…（笑っている）
事務員　でもけっきょく…
アイドル　♪ろっく～でな～し～ろっく～でな～し～なんて～ひど～い～
ア＆用＆事＆夕＆じ＆落＆ポ＆黒＆花　ア～ウィ！（振りをつけて）
アイドル　♪いいか～た～
あずき　げす（はい）！のどがわかいたでげす！
事務員　じゃあ、水のみ休けいにします。水を飲みたい人は、すぐにすませてください。
みんな　は～い。

水飲み場にみんな並ぶ。
と、ボコボコ音がする。（怖い音と照明）

全員　ん？
お岩　（水飲み場の中から）いちま～い、にま～い…
用務員　この声はまさか？
お岩　（うしろ向きに少しずつ出てきて）さんま～い、よんま～い…
事務員　あのゆうめいな、お岩さん！？
お岩　ごま～い……いちまいたりな～い！（がばっとふりむく）
みんな　キャ――――！（ぎゃ――！）（ジュワ――！）（にゃ――！）（明るくなる）
妖精　ぜったい6を消したのはこの人だ――！こわいもん！！
お岩　いいえ。わたしがうらんでいるのは、ろくはろくでもロックです。
アイドル　え？あたしとおなじ？
お岩　いいえ。わたしがうらんでいるのは、ロックはロックでも岩のロックです。
タロウ　なんでだ？
お岩　むかし、岩につまずいて転んでしまい、こんな顔に…（目の上がはれている）
ポック　それはかわいそうに。
事務員　でも…
アイドル　♪ろっく～でな～し～ろっく～でな～し～なんて～ひど～い～
ア＆用＆事＆夕＆じ＆落＆ポ＆黒＆花＆あずき　ア～ウィ！（振りをつけて）
アイドル　♪いいか～た～

お岩　それより、わたくしのお皿が一まいたりないんです。どちらにあるか、どなたかごぞんじありませんか？
黒ネコ　あ、そういえば、昔、散歩中に校長先生の部屋で見たような気がするにゃ…？
みんな　校長先生？
用務員　そういえば、着任してから校長先生にまだあっていないな。
事務員　え？私もです。
おじい　だれか、校長先生を見たことある人いるのかのう？
みんな　いませーん。
落武者　うむ！あやしい！
用務員　校長室へ…
みんな　行ってみよう！
黒ネコ　こっちだにゃ。

ドアから出て、みんなで歩く（舞台下前スペース（客席通路）を一周）。
♪「おばけなんてないさ」を口ずさみながら。
舞台上では「校長室」に転換。（ドアの位置・金庫）

シーン3　『ヒミツの校長室』

校長室のドア。

黒ネコ　ここだにゃー。
用務員　ここが校長室か。
事務室　じゃあ、さっそく（コンコン）

間。

アイドル　まあ、いないよね。
タロウ　じゃあ失礼して。（開けようとする）開かないな。
おじい　じゃあわしも。（開けようとするが、腰がグキッと）おお！こしが！
お岩　そんな、せっかくここまで来たのに。

間。

ポック　じゃあまあ、つかれたので、ここらでいっぷくしますか。
あずき　ちょうどここに、クロッカスまんじゅうもあるでげす。
落武者　むぎ茶もあるでござる。
黒ネコ　じゃあ、ティーパーティーだにゃあ！にゃにゃ！（アライグマを呼ぶ）
妖精　いいわね。お茶パーねー！さいこー！

みんな、アライグマに群がる。(ティーパーティー)
するととつぜんドアが開き、校長先生が登場。

校長 ぼくも食べたーい!
みんな 校長先生!?
用務員 いらしゃったんですか?初めまして。用務員のはちやです。
事務員 事務員のすえながです。
校長 あ、はじめまして。校長です。
おじい なんてことじゃ!
落武者 どうしたのだ、ごろうじん。
おじい 校長、あなた、昔からすがたがまったく変わっていない!
みんな え?
校長 そんなきみは…かつての用務員さん!
みんな ええっ?
用務員 せんぱいだったんですか!
おじい まあ、そんなこともあったのう。…なるほど。あなただったんなら、なっとくもできるわい。あなたがうらんでいるのは…ろくはろくでも、数字の6じゃ!!
みんな ええ――!
あずき 校長先生なのにげすか?
校長 そのとおりだよ、しょくん。6なんて、わたしの学校にひつようないんだ!
ポック いったいどんな根深いうらみが…?
おじい 校長先生はのう、むかし算数のテストで6点を取ってしまったことがあったのじゃ。
黒ネコ (間)…え?それだけにゃ?
校長 それだけとはなんだ!すごくはずかしい思いをしたんだ!あの時ちかった!この学校から6を消してしまおうと。そしてこの校長室に、6をとじこめ、わたしもここに、ひきこもった。いらい、ふしぎなことに、わたしの時も止まったままさ。
事務員 とりあえず、学校に6をかえしてください!
校長 やだよーべ――!(あっかんべー)
みんな 校長!

校長、うしろを向いてしまう。

アイドル ねえ―どうする?
お岩 まったく…あなたって、あのときから、まったく成長してないのね。
みんな え?
校長 お、おまえは…お岩ちゃん!?
お岩 そう。わたしは、あなたの元カノ、お岩よ!
みんな キャー!(ヒューヒュー!)(てれたり、ひやかしたり、変な空気)
お岩 つきあいだした時から毎年作ってた2人のきねんのお皿…6まい目の皿をかくしたのはあなたね!

校長　う…。
お岩　転勤が2人の運命をひきさいた、あの最後の6年目の皿…返してちょうだい！
校長　あの皿だけはかえさん！
お岩　なんで？
校長　だって…
お岩　だってなによ。
校長　あーもう。うるさい！あっちいってろ！
事務員　あ～あ、よけいふてくされちゃったわよ。
用務員　なんか、校長先生の心をほぐすものないのかい。
お岩　そうねえ。あ、そういえば…あの人はゲームならなんでも大好きだったわ。
落武者　ゲームときたら…
みんな　ポックマンだ！（ばらばらに、てきとうな名前でよんでいい）
ポックマン　ポックマンだ！よし！まかせとけ！ウルトラマンタロウくん、ちょっとトランプをかりるよ。
タロウ　ああ、いいとも。
ポックマン　校長先生、7ならべしようよ。
校長　お、いいねえ（ふりかえって）。じゃあ中へどうぞ。

ドアから中へ入る。（みんな入ったら、ドアははける）
みんなでちっちゃく集まり、わいわいトランプを楽しむ。少したって…

校長　パス
ポックマン　はい。（カード出す）
校長　パス。
ポックマン　はい。（カード出す）
校長　おおーい、だれだよ6出さないひと。…パス。
ポックマン　あ、校長、パスは3回までですからね。はい。（カード出す）
校長　ええ～。ちょっとまってよ～。ええ～。もう～。ちょっとまっててね。

校長、おくの金庫に行って、なにかをつぶやき、少しだけとびらを開け、すぐ閉める。
一瞬だけ音楽がもれ聞こえる。

校長　はい！6のカード！やったね。さあ次はきみの番だ！
みんな　よっしゃ――！
校長　え？
用務員　6は、あの金庫にかくしていたんだな！
校長　しまった――！
事務員　でかしたわ！バックマン！
ポックマン　ポックマンだ！
妖精　でもさっきどうやって金庫をあけたの？
みんな　あ…。

校長 ふっふっふ。この金庫にかぎはない！さいしんしきのセキュリティーで、あるキーワードにしかはんのうしないしくみなんだ！
あずき なんてことでげす！
アイドル もう一歩なのに！
黒ネコ 校長先生！そんなに6がきらいですかにゃ！？そんなに6が悪いですかにゃ？ここにいる人たちはいろんな「ろくに」にうらみがあったけど、この用務員さんと事務員さんのおかげで、いまは大好きになったにゃ！
用&事 黒ネコブルー…。
黒ネコ 6ってすばらしいにゃ！なんで気づかないんだにゃ！世界は…こんなにも6であふれているのに！
校長 …そうなのか？
お岩 まあ！あの人の心がちょっと動いたわ！チャンスよ！みんなで6のつく言葉のすばらしさを、教えてあげましょう！

みんな、なんやかんや6のつく言葉をさけぶ。

校長 うう～ん。
妖精 もうちょっとよ！
アイドル あ、「ろくろ首」もあるわ！
校長 え？ろくろ首？なにそれ、おもしろそう。
あずき 大きく反応したでげす！
お岩 だれか、ろくろ首を説明してあげて！
おじい でも説明しにくいのう。
落武者 だれか首のばせないのか？
タロウ あ、わたしはたぶんのびるぞ。
ポック そうか！ウルトラマンタロウは大きさを自在にかえられる！
黒ネコ 首だけ大きくすれば…
タロウ よ―し、いくぞ―！

ウルトラマンタロウの曲、イン。（♪タロウ！ウルトラマン、ナンバーシックス！……）
曲に合わせて、タロウの首がのびる。（お面を活用して、吊る。アライグマが支援）
「♪そ―してタロウがここにい―る―」くらいまでで頂点へ。

みんな すごいぞ！ウルトラマンタロウ！
ギネス （そこへ、通りかかりのギネス認定員が）あらまあ。
お岩 あ、通りすがりのギネス認定員だ。

ギネス （ノートを開いて）「ウルトラマンタロウさん、世界一首が長いウルトラマンとして、ギネス認定します！（写真を撮って、さっていく）
タロウ やった――！
みんな おめでとう！（拍手）

校長　なんてこった…ギネス記録まで…おまえたち…なんて…なんてろくでなしなんだ！

この言葉に反応して、金庫の扉（中幕？）が開く。（スモーク？）
目つぶしライトをバックに、ぬのべ犬がマイクで「ろくでなし」を歌っている。
横で「6の化身」たちも、おどっている？
少し歌が流れてから、われにかえった校長先生がとびらを閉める。

校長　だめだだめだ！（金庫のとびらをおさえる）
みんな　ああ、おしい！
用務員　ろくでなし。ろく・で・なし。ろく・が・なし！そうか、「ろくでなし」がキーワードだったんだ！
事務員　なるほど。6のみなさん、出たがってたわね。もっとみんなで力強くさけんでみましょう！せーの！
みんな　ろくでなし——！
校長　いやだ——！（一生懸命おさえてる）
妖精　だめよ！そんなていどじゃ！もっと気持ちをひとつにしなきゃ！
用務員　ひとつにって？
妖精　歌よ！
事務員　歌？
妖精　さっきの金庫の中でうたっていた犬。あの犬知ってる…ずっとこの学校を見守ってきた伝説の番犬、「ぬのべ犬」よ！きっと学校を守ろうとする私たちに、ヒントをくれていたんだわ！
アイドル　そうか、だから私の作った歌を…みんな、もう一度あの歌を歌いましょう。ロックの心で、ろくでなしを歌うのよ！
みんな　うん！
アイドル　さん、はい！

♪ろっく〜でな〜し〜　ろっく〜でな〜し〜　なんて〜ひど〜い〜
ア〜ウィ！（振りをつけて）　いいか〜た〜

金庫のとびらが、あきそうであかない。校長「わ〜。」

校長　セーフ！
あずき　だめだ。まだたりないでげす！もうちょっとなのに！
黒ネコ　そうだにゃ！会場のみなさんにも協力いただければ！
タロウ　それはナイスアイディアだ！
おじい　ということで、会場のみなさん、今年もまた、てつだっていただけますか？
落武者　せっしゃたちといっしょに、元気よく「ろくでなし」を歌ってください！
ポック　曲は、もう、おぼえましたね？
お岩　もちろん、ウィッ！のところは、手のふりもつけてください！
みんな　おねがいします！！

用務員＆事務員　さん、はい！

歌　《　越路吹雪「ろくでなし」（伴奏入り）》

♪ろっく～でな～し～　ろっく～でな～し～　なんて～ひど～い～
ア～ウィ！（振りをつけて）　いいか～た～
（用務員「もっと元気よく」）
♪ろっく～でな～し～　ろっく～でな～し～　なんて～ひど～い～
ア～ウィ！（振りをつけて）　いいか～た～
（事務員「もうひとおし！」）
♪ろっく～でな～し～　ろっく～でな～し～　なんて～ひど～い～
ア～ウィ！（振りをつけて）　いいか～た～

バーンととびらが開いて、6が解放される。（スモーク？）
中から、ぬのべ犬や、6の化身たちが出てきて、喜ぶ。
アライグマと、ぬのべ犬は感動の再会。
6の化身の一人は、お岩さんの6枚目の皿をもっていて、校長に渡す。
曲は、「ろくでなし」の前奏にもどる。

みんな　やった――！ご協力、ありがとうございました！

全員で歌　《　越路吹雪「ろくでなし」（かえ歌）　》

♪むぎ茶がわいたら　校長がめざめて（お岩さんが近づいていって、皿を受け取る）
それでもこの布部が　一番きれいだわ
とても好きだけど　お別れよ　さようなら（用＆事「えっ？」）
ネコのさえずりに　送られて出てゆこう（おばけたち、あつまる）
※黒ネコ「にゃ――！」
ろっく～でな～し～　ろっく～でな～し～　なんて～ひど～い～
ア～ウィ！　いいか～た～
パパーラ　パラ　パパーラ　パラ
パパーラ　パパ　ラ！　ラパパラ

曲はまだ残るが、用＆事と、おばけたちは、手をふっておわかれ。
口々に「さよ―なら―」
みんなと一緒に行こうとするお岩さんの手を、校長がつかんで引きもどし、
曲を残したまま、暗転。

エピローグ　かげ絵『6のもどった学校』

「ろくでなし」フェードアウト。かげ絵ライトがつく。
鳥の声。チャイムの音。子ども達の声でがやがやしている。
以後、会話する人形のセットのみ登場。（セリフは録音）

子ども⑤　きのうのウルトラマンタロウ見た―？
子ども③　あったりまえじゃん。あの新技、すごかったよな。必殺―ろくろネック！
（切りかえ・カッコウ）
子ども①　あ、用務員さん。クロッカス、きれいにさきましたね。
用務員　そうだねえ。
子ども⑦　今年はなぜか虫もつかないし、元気よね―。
（切りかえ・黒ネコ「にゃ―」）
子ども⑨　事務員さん、六骨亭から新発売のクロッカスまんじゅう知ってます？
事務員　もちろんよ。むぎ茶にぴったりよね！
（切りかえ・カラス）
子ども②　早く帰って、ポックマンしようぜ！
子ども④　じゃあ児童公園集合な。ポックマンレアカードも、わすれんなよ―。
（切りかえ・ぬのべ犬「な～にぬ～のべ～」）
子ども⑧　あ、校長先生、さよ―なら―。…あ、ご結婚、おめでとうございま―す―……

越路吹雪「ろくでなし」（原曲）強めにイン。
影絵スクリーンに、お岩さんの6枚の皿が順に出てくる。（ハートマークに数字）
影の中、お岩さん（実物）が出てきて「7枚目のお皿」（少し大きめ）を出す。
校長先生（実物）も影の中に出てきてそのお皿を受け取る。
そして幕が下りる。

カーテンコール

おしまい